

橋本店のSDGs重点課題と取り組み方針

重点課題	取り組み方針	SDGs
地球環境・地域環境の保全	<ul style="list-style-type: none"> ○全事業を通じて、省エネ活動や環境に配慮した調達に取組み、持続可能な地球環境の実現に貢献します。 ○清掃活動・美化活動などの地域貢献活動を実施し、地域環境の保全と意識醸成をめざします。 	      
地域産業の基盤創出	<ul style="list-style-type: none"> ○ICTなど最新技術を取り入れつつ質の高い建物やインフラを提供し、地域産業の基盤を創出します。 	    
地域社会の持続的発展	<ul style="list-style-type: none"> ○工事施工中の安全確保はもとより、災害発生時の迅速な復旧対応を可能とする体制を構築し、地域の安心・安全の確保に努めます。 ○建設人材の確保・育成のため技能教育やキャリアアップ支援を展開し、地域の持続的発展に貢献します。 	    
ダイバーシティ推進	<ul style="list-style-type: none"> ○健康で、多様な働き方ができる職場環境を基盤に人材の能力を最大化し、働きがいの向上をめざします。 	    
経営管理態勢の強化	<ul style="list-style-type: none"> ○リスク管理体制、コンプライアンス体制の強化・充実により企業経営の透明性向上をめざします。 	

持続可能な開発目標 SDGsとは

SDGsとは、『持続可能な開発目標 (Sustainable Development Goals)』のことです。社会が抱える問題を解決し、世界全体で2030年をめざして明るい未来を作るための17のゴールと169のターゲットで構成され、地球上の「誰一人取り残さない (leave no one behind)」ことを誓っています。2015年9月、ニューヨーク国連本部において193の加盟国の全会一致で採択された国際目標です。



総合建設業 創業明治11年



本社 〒980-0822 仙台市青葉区立町27-21 TEL.022-714-7020 T.M.センター 〒983-0005 仙台市宮城野区福室字県道前16-1

営業所 ■盛岡 ■福島 ■大崎 ■石巻 ■気仙沼

橋本店webサイト

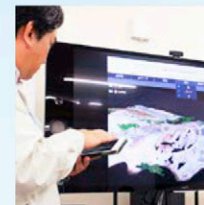


SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



すべては、未来のために

『持続可能な未来のために、建設業の私たちに何ができるだろう』
地域とともに **橋本店グループ** が取り組むSDGsをご紹介します。



人・地域・未来が、明るく笑顔あふれる場所となるために、

より良い社会の実現を目指して、私たちは貢献します。

地球環境の保全 - 桜プロジェクト -

県内22ヶ所に1000本の桜の植樹

桜1000本の植樹で
10年後 5万 km分の自動車走行時
年間約 CO2排出量を吸収

2050年までに
5000本の植樹



気仙沼大島での植樹会。地域住民の方々をはじめ、来賓の方々、橋本店社員など約140人が参加

橋本店SAKURAプロジェクトとは、2016(平成28)年より、地球環境の保全に向け橋本店グループが取り組むもので、東日本大震災や自然災害の被災地域をはじめ、橋本店が施工に携わった公共建築物や公共土木施設の周辺地域に桜の苗木を寄贈し、植樹を行っています。これまでの植樹本数は1,000本で、県内22ヶ所に上ります。各地の発展と、桜の成長とともに地域の皆様が心安らぐ春を迎えられることを願い、今後もプロジェクトを続けます。

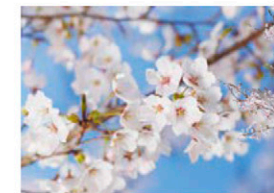


○桜プロジェクト創設と継続

- 宮城県内に約1000本のさくらの苗木を植樹。

○スマイルサポーター・スマイルリバーへの取り組み

- 宮城県内7ヶ所で道路清掃活動や河川清掃活動を実施。



気仙沼大島(御衣黄桜)

南三陸町震災復興祈念公園(大島桜)

大衛中央公園(ソメイヨシノ)



サステナブルな街づくりへ



近年、関心が高まる「コンセッション」をはじめ、「PPP」「PFI」など、官民が協同し、効率的・効果的に質の高い公共サービスの提供を目指す事業方式が増えています。橋本店でもこれまでの実績やノウハウ、新技術を活用し、地域の課題解決に積極的に取り組むとともに、サステナブルな、より良い地域社会の実現のために貢献していきます。

○コンセッション事業への取り組み

- 人口減や施設の老朽化が進む中、民間ノウハウでコストを削減し、将来的な社会基盤づくりに貢献。

○積極的な再開発事業への取り組み

- 土地の合理的かつ健全な高度利用と都市機能の更新を図ることを当社ノウハウで提案。

○PPP(PFI、DB、コンセッション)事業への取り組み

- 民間の資金、経営能力、技術的能力を活用し、公共サービスを提供する事業への積極的参入。(仙台市天文台、高砂学校給食センター、まなウェルみやぎ)



仙台市天文台(仙台市青葉区錦ヶ丘)



高砂給食センター(仙台市宮城野区高砂)



まなウェルみやぎ(名取市美田園)

神社、仏閣の再建・支援

櫻岡大神宮、紫稲荷大明神など、地元のゆかりある歴史的建物を改修・支援

櫻岡大神宮(仙台市青葉区桜ヶ岡公園内)



伊達政宗公が伊勢神宮より分霊を勧請し創建。2012年3月、東日本大震災からの復興を祈念し大島居を奉納、屋根の改修や境内整備を寄進しました。

紫稲荷大明神(仙台市青葉区立町)



古くから地域の氏神と前売船盛の神であり、戦禍を免れたことから火伏せの神としても信仰を集めています。2021年3月、同町内の本槽丁光僧会、材木町親交会、当社、橋本同心会により社殿を新築し、寄進しました。

孝勝寺釈迦堂(仙台市宮城野区楸岡)



仙台藩四代藩主伊達綱村公により生母・三沢初子の冥福を祈るために建てられた持仏堂で、仙台市登録有形文化財。孝勝寺は橋本店と縁が深く、現在は釈迦堂の復元工事が行われており、2021年12月31日に完成予定です。

地球環境保全のために、私たちは積極的に行動します。

気候変動・脱炭素化への取り組み加速

各現場でCO2削減
年間目標 **30%** (当社比)



太陽光発電事業の運営と温室効果ガス削減プログラムへの参加

仙台市青葉区芋沢にある橋本店の太陽光発電所「くじらのメガソーラー発電所」では、年間約157万kWh(一般家庭約450世帯分の年間消費電力に相当※)の推定発電電力を創出。年間約750トンのCO2排出が削減できます。また、仙台市の温室効果ガス削減アクションプログラムにも参加し、カーボンニュートラルな社会の実現に貢献しています。



くじらのメガソーラー発電所

※設備利用率を12%として次式より算出
1,500kW×24(時間)×365(日)×0.12

くじらのメガソーラー発電所の創設と運用の取り組み

- 1.5MWメガソーラー発電所を創設・運用し、年間約750トンのCO2削減に貢献。

書類電子化への取り組み

- 契約書などはCI-NET、廃棄物管理は電子マニフェスト、発注者にはASPで書類を納品するなど、ペーパーレスを推進。

全社員にeCO検定®資格取得を推奨

- 全社員にeCO検定®の資格取得を推奨し、環境に関する知識向上を図る。(2021年1月時点で110名が検定に合格)



eCO検定試験®は
東京商工会議所の
登録商標です



CO2排出削減の取り組み

- 省エネ型建設機械の導入。
- 2030年までに全社用車、社員の自家用車に電気自動車、ハイブリッド車、水素自動車等の導入を推進。

廃プラスチック発生抑制への取り組み

- BIM/CIM(※)導入により詳細な情報を把握することで施工ミスを削減し、余分な材料発生を防ぐ。(※)6ページ参照
- 全現場でゴミを回収し、廃プラスチックを含め分別を徹底。
- 廃発砲スチロール等の再資源化。
- 不要な梱包材の削減。 ・ ヘルメットのリサイクル。
- 再生業者への委託処理。
- 廃プラスチックの発生量や材料等のデータ収集。
- 全社員へエコバッグを配布。



橋本店 産廃分別ルール

橋本店の現場作業所においては、産廃の分別を徹底すべく「廃プラスチック類」「がれき類」「金属くず」「木くず」等に分けコンテナ型の産廃カゴを設置し、わかりやすく種類別に表示。

特に廃プラスチックについては分類品目が分かりやすいよう、カゴ周辺に種類を掲示し、誤入を防止するなどの対策を行なっています。



仕事・生活ともに充実、魅力あふれる職場づくりに取り組めます。

働き方改革の推進

BIM/CIMで生産性向上
年間目標 **30%**



ICT技術の拡充と質の高い建物・インフラの提供を目指す

橋本店ではBIM/CIM※を始めとするICTの技術を導入し、仕事の効率化や生産性向上を目指しています。建設業においてもドローン測量などの最新のテクノロジーを駆使することは、質の高い建物やインフラの提供、地域産業の基盤創出に寄与するとともに、非接触型のニューノーマルな職場環境の整備や業務効率化、働き方改革にもつながります。2020年9月には当社の災害対策拠点となっているテクノロジーマネージメントセンター内にBIM/CIMの教育施設を増設。2025年までに全技術職員の技術習得を目指します。

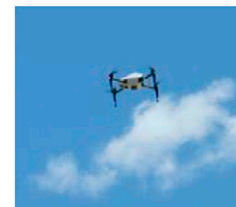
※3次元データモデルを活用し、建設事業の調査設計、施工、維持管理の各段階における必要な情報を連携させ、生産システムの効率化を図る技術。BIM (Building Information Modeling) は建物、CIM (Construction Information Modeling) は土木に用いられる



BIM/CIMの技術習得研修



4D施工シミュレーションによる施工性の向上・工期短縮 (大崎市役所)



ドローンで現場を測量・撮影



現場を3Dデータ化 (CIMの活用)

○BIM/CIMへの取り組み

- 働き方改革のエンジンともいえるBIM/CIMを全ての公共工事に導入し、現場の見える化、効率的な施工計画、打合せ時間の短縮などを図る。

○ICT施工

- ドローンで現場を測量・撮影。自動測量により業務の効率化を図る。

○ASPサービスの活用

- クラウド上で書類の保管や記録を行い、協力会社や発注者、社内の各部門と情報を共有し、業務の効率化を図る。

ワークライフバランス実現への取り組み

自社の社員はもちろん、橋本店の仕事に携わる全ての従業員にとって、働きやすい職場環境であるために労働時間の改善や生産性の向上に取り組む、ワークライフバランスの実現を目指します。

○週休二日制への取り組み

- 自社を含む建設業全体で週休二日制の導入を目指し、従業員のワークライフバランスの実現を図る。

○育児休業制度の利用促進

○ワークライフバランスの実現

- 現場の土曜閉所を推進し、週休二日制促進に取り組む。
- 長時間労働の是正。
- ノー残業デーの促進。

○女性の活躍促進

- 日本建設業協会制定の「けんせつ小町」の愛称活用など、女性が活躍できる職場の充実を目指す。
- 宮城県の「女性のチカラを活かす企業」として認証。

○橋本マイスターの実施

- 当社協会の優秀な職長に特別手当を支給し、賃金改善によりモチベーションの向上を図る。

○建設キャリアアップシステム (CCUS) の導入

- 全ての工事でCCUSを導入し、現場で働く労働者の賃金改善やスキル向上を図る。



けんせつ小町



女性のチカラを活かす企業



橋本マイスターの取り組み



橋本マイスターの取り組み